令和２年度学校だより　学校教育目標「せいいっぱい　きたえ　のびよう　東っ子」

東白川小だより

令和２年１１月２７日（金）NO.9

国語辞典を机の上に

東白川小学校長　　伊佐治　晃

気になる言葉の意味を調べる６年生

子どもの頃、国語で新しい単元の学習が始まると、「分からない言葉の意味を調べる」ことが宿題になったり、授業の始まりは「意味調べ」だったりしたことを覚えています。

さて、右の写真でも国語辞典で言葉の意味を調べています。この授業も「意味調べ」の時間なのでしょうか。いえいえ、違います。この児童は説明文を読んでいる途中で言葉の意味が気になり、自主的に調べているのです。この時間、発言をしながら、「ちょっと待ってね」と国語辞典で言葉の意味を確認し、発言を続ける姿を見ることもできました。6 年生の国語の時間でのことです。言葉を非常に大切にしていることが分かります。同じ様子が 4 年生の教室でも見ることができました。

コミュニケーション能力の必要性が語られます。自分の考えや思いを相手に伝える力、相手が話したことを正しく理解する力のことです。つまり、表現力、読解力を鍛える必要があります。その手段として、「読書をすること」「言葉に親しむこと」「語彙を増やすこと」があげられます。そこで、この 6 年生の姿をもとに、国語辞典をもっと身近なものとし、どんどん活用していくことを学校では推進していきます。今、学校で使用している国語辞典も購入してからかなり年数がたちました。時代とともに新しい言葉も出てきます。これを機に国語辞典を新しくすることにしました。1 人 1 冊の国語辞典を手元に置き、気になればすかさず自分から意味を調べる姿を目指します。ご家庭でも、例えばテレビを見ながら「？」な言葉が出たら「調べてみようかな」という声が出てくるといいですね。

行くことができたことに感謝しながら

～6 年生　修学旅行～

11 月 5、6 日に 6 年生が京都・奈良への修学旅行に行ってきました。コロナの関係で「行けるのか？」「行き先は？」「宿泊は？」「対策は？」と例年とは違う部分での検討事項が多くなりました。でも、村教委さん、保護者の皆さんの後押しもあり、こうして行ってくることができました。

6 人で散策したり、買い物を楽しんだり、食事をしたりする姿を見ていると「来ることができてよかったな」と思いました。幸い見学地での人出はさほど多くなく、三密になるようなことはありませんでした。

大仏殿の柱の穴がくぐれなかったり、清水寺の音羽の滝の水を飲んだりすることはできませんでしたが、見上げた大仏の大きさ、夜の京都タワー、清水寺から眺めた景色、鹿にせんべいをおそるおそるあげたこと、映画村のお化け屋敷など 6 人でつくった思い出は何ものにも換えられないことでしょう。